

第14回栃木県老連大学校OB会研修会

1月29日（月）とちぎ健康の森講堂に栃木県老連大学校2期から16期までの卒業生220名が集まり、年1回の合同研修会を開催しました。

研修会では、黒圖盛男県老連会長から「卒業生は500名を超え、市町老連にとっても大きな財産で、老人クラブ活性化のために、地域の担い手として、豊かな地域づくりを期待している」と、卒業生を激励。

講演会では、「栃木の百様」の演題で栃木県総合政策部地域振興課の鈴木規章課長補佐、湯澤敦司専門研究員の講演がありました。卒業生の皆さんは真剣に、耳を傾けておりました。

午後には、各期ごとのアトラクションが行われ、コーラスや踊りなど多彩な出し物で、会場は大いに盛り上がりました。最後には「ふるさと」を全員で歌って締め、各期の横の繋がりと、また、OB会の縦の繋がりとで、まさに人と人との交わりこそが、老人クラブの地域支え合い事業であり、老人クラブパワーを発揮した一日で、次回の再会を誓いました。



4期会



5期会



6期会



7期会



8期会



9期会



10期会



11期会



12期会



13期会



14期会



15期会



16期会



日光和楽踊り



会場の様子